ト政府が海峡保紗既計算議出駐中【モントル・八月同盟】ソヴエー

字垣總督、今井田政務總監臨席

ける本府で開催さる

異動地型理制度の改善に関す

蘇の態度に

表に部外の際を與へ不快の念を抱

意大な要求を提ぶして次の如く主 殿照洋艦の保有量その他について

四千萬圓を要求する

蘇聯代表が八日訓電を接受

省には田中条、鳩山条、松川条な「酢に敷製せしめる結果となり、こ「椒酢」ケ年延長健取は酥脆である。に至らなかつたもので、聊に文都「小敷板に入壁し供ぎの鬼飲を強鰥」れ、既に裏胡嶽梅は非公職に蔵跡して養に離職削れとなり貨地する。して八ケ年となす出台、聊延高等「水磯するか否かは非常に顧職訓さは織代内郷が度々これを戴みんと「笹の義務敬飮六ケ年を二ケ年延長」局が平出案の襟飜戦革をそのまゝ

5

単りが動を重ねてゐるが、日本歌。 り新海車協定の締結に勵し數次に 「時間となった」。

とはなつてゐるが、砂臓域帯間域… 世襲するは至つたのであるが、現「職著しく解職の今日來して大磁器 - 間に正面衝突の危害が腐敗され、案を提示しその内容を意明するこ、突如として造券総計一ヶ年延長を一般として二年四百萬間を興し、練一の立場から反対する馬恩蔵相との 准年献彦の締結に続い数次に「反東を表明し、ロンドン係的によ」或指が変形が表現に耐すれば失調ロンドン族共館跡終代前後よ「数についてはイギリス歌布は絶対してゐるといはれる、萬一英解洞國ンドン八日印出」英解南國政「以上支持日のうち甲經避洋艦の災」れ、交渉は 至く行詰 りに進習しいドン八日印出「英解南國政」以上支持日のうち甲經避洋艦の災」れ、交渉は 至く行詰 りに進習し

☆ れば騒を貼してもこれが買城を即 本学を議画として忠誠するとにな で 本学を議画として忠誠するとにな

た、先づイギリス代表レンデル氏と、先づイギリス代表レンデル氏とは原体項に触するイギリス配所のは原体の重要を表現したの如く違べたイギリス取所は原則として取時に於ても各種知量の必ずへる。但しトルコ取所にしてもに同國政したが自國の政策が安全が脅威を受けると思惟する場合には、全交をと

質のイギリズ政府の海峡自由論主

イギリス代表の提出した修正条中

字制改革案、愈

あすの閣議

 回り、
 濠洲政府輸入

関爆光酵南國代数の職職に終始し

「キャンペラ八日同盟」深歌峰旧 夏の総選撃節を月銀に置って休暇 「お、何か、仕事のよで、ちよつと「キャンペラ八日同盟」深歌峰旧 夏の総選撃節を月銀に置って休暇 「お、何か、仕事のよで、ちよつと 許可制を擴張

細草の開始を開発した。

然らば、愈々もつて、不婚な奴 買つて語ちたものにござります。

いなとかけられ、星場から傷を

南部部級・一めておきましたが、その場分を、 八丁の松崎一引つ揃へて、唯今、あちらに縛

一この際少し精力を貯へて置

野選を開発して、地震の大力の大力を表現のであった。東京の大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力の大力を表現して、大力を表現れている。まれて、大力を表現れている。まれて、大力を表現れている。まれている。

藥良児中

グリコテ

ミツ ケタ ミツ

0

+

齿

•ф

:(八) ・前駅城京 トンテ西中 帯バ四ハ:南窓 番木ちこ-城京着板

支端を来すので多個間を學習と

参考として具盤家の製作を含いて、土木げも周囲せしめることとなっ、野菜製技質があの際上にて発達に提出せしめた飲地家を、事業は三ヶ年以上の鑑賞事業とし、あるが、写真教育は昨年開催、歴に会立に提出せしめた飲地家を 事業は三ヶ年の上の鑑賞事業とし、あるが、写真教育は昨年開催、近に就いて、日下本府の物局では、明年度出版の第二次地方提供土木、飲中総村の中家人物養成に努い、 は各職使職を總轄段して一路を職職業が前の出場に努めてゐる本府 の意見を容れ、慰務局に破党の上て更期を質問にせしめられたいと

多层

ちずにないの気をなりかをナコヤ利年

磯軍司令官

と、國時は、腹殿な面持ちを

らん、きつと、他の酸人类への他の酸人类への 他の酸人类への 他の酸人类への

一ケ年制度は、國家百年の大部 國家五ヶ年計刊結構、十ヶ年

に信ぜしめなければなられ、國

の記跡間答申に入つた。 頭ボに午前の日程を終へ休憩後左

- 宇田器質の側ボ、林城が最長の

省合口郡称談長、太田頭館禁馳長國分光洲の五局長に内地から大鷲

方質年期、研測成與、肺本大即、

震災官議に於る

列艦開艦、第一日は宇宙器督、今

威與の心器に何ひ、路城後来月初 天地玄黃

N. 12

盆 光 和

っすくにせい。——さらぢや、こっちの草臓へ曳き出して、首を刻ねった。 の単臓の内では飛鴻はならん、隻 失つて、資糧と立ちかけた。 「あ……お得もなされ』 「あ……お得もなされ』 と、その過 話を、聞かせ 大勝も、色を 奉行の野木概 クキ グス てんの (



意注にクーマッシノモセニ



四は夫々本國政府に經過を翌古

マニア代表テテュレスコの四氏

フランス代表ボール・ボンタール 女子質違思校の新校長には同校数プランス代表ボール・ボンタール 女子質違思校の新校長には同校数

- A

(177)

▽療法と効果△

3

シパ腺結核

下など題内各部の淋巴腺を冒ってない。(腺病)は藍の作用で冒、、

小取締りを恥ち入るやちに、平伏一 河和田の平次 (四) 村 花 治

たせては、不思議な腕を持つてゐざいまするが、唯ひとつ、整を持 の選佐と思うて恐れ入つてをりま 得のないやくざ者にはご知り、西部、無様、別語、大概人の性質は、今も申述の、無様、別語、 その底は、重々私ども

の形にさはつたらしく、いきなり一て、天襲と申しませらか、格天非 一の組みとか、間間細工などの仕事 になると、平次郎でなければ、

はこれてある。京城日最豊との一は脳道をす同院交は南戸市東 3

るす服征を病兒小 効薬の粒ーの此

朝有事の日に伝統氏一致脳刀し

川・自家「西方」。壁の地郷で有力なる現態は三百と龍洞直ちにこれたをはて紀秋中に襲入・展哲と聞ひ雕黻を楽記中、八日年旬七時城並懸は東波 | 各地にい戦を張ひつ、ある楊榑に贈の記伐命令を受け基際は東波 | 各大八旦回回一端)の本部総鑑安 | 鈴木彫じ縣中山〇縣の欠點〇| 発天八旦回回一端)の本部総鑑安 | 鈴木彫じ縣中山〇縣の欠點〇| 攻戦を担始したが多数を斬む戦略の逆襲を使く我が軍は刺々苦職一 唐にうつこの不耐伐隊は直もに出動、矢島〇隊の引ひ合戦に該開戦 を急心中

對岸の蘇聯煙秋に

反革命の運動

間の往ば野外航空調査場行する日から甘一日にかけ太刀能、大連

刀流飛行。川殿殿では紫る十六

連演習飛行

とにかり参加機の値数機大機は一

開結して政府能に赤軍を支持し、 蘇聯政府計局は盛んに対比が一致一 用低頭状的外調蘭形長ホスヤンス「郭人」 一味上名をも 搬撃したるをみざりしが、去る六月十七日末。 系統法伝染たる金ブレギセイ(蜀遊ガせる呉ぶた反応能分子の出現。 部里前州 革織を援敵時間にして反が秩が・・・ウ除にありては逆来。 別を興い押 ねし、翌十八日州秋上 昌局狼狽して對策

不貫しあれば興味上何らの佐殿を カ(朝鮮人)を主語報とする反革の製結あるのみならず、軍順既に 初級學校長 南ナチエス 聴することなしと疑問しるるが 近京所設制報によれば蘇聯内各一赤重コルホーズ段)を接続すると 初級學校長 増ナチェス

がなほ各地方面に亘り連氧者多数 びせる鉛筆> ある見込みにて歌事性の新聞規載 を鉄正し米骨有の大事性として極

列出が水管部小県校園を驀進中 んで個死した娘があつた、永 第で 取制べの結果遺形により

門所でして一郎撃さんつき 業し上級会校入型出来ないの

幼なじみ悲戀 漢江に消えた心中

朝鮮人景煎件 朝鮮人心中死體の母許に就て 年後八時頃、渓江橋下に渡着 に常る京城大列町金俚青田さ出書で瓢釭中であつたが、男 次回の大會地 州日の

るは行くしま勇もといに中の雨小日九

式念記隊兵騎山龍

は一緒に住さては行けないとで 後に概を組らる仲となった、歴のあったが何度の頃からか頭孔の 女は失戦し、男の日総二十五銭後に続を祀らる仲となった、最 能において開館式のみを掛行 後四時からペルリン大學館一館は 於て北陸から原識を聞き、

東方でも一点がいばからの知り合ひ 作が、シと同下往十里面むしろ工

| 本の二十九日から三日間ベルリ

【ベルリン八月间間】オリンピラ

ク東京開催の最後的秩足を見るべ

更に避行する見込みである。決定 までの保定であるが時間が許せば 見られる、原設第一日経過は千 役員遊り・ジャンカ委員リ・ジャン

オリンピックの餘地なしと

東京開催を支持す

込みを否定

テオピア攻略の蘇勢を縊つて採申し

至急電話

十日から演藝館で開演

中村耳

器型脚士 中

電話本局②三三

ら武徳館で繋げ、新聞記者立督の主急記話の抽籤は九日午期十時か

水登浦の抽跡

たが、いよく十月から京城戦闘とと道んだ一行、中央が右辺不失をが、いよく十月から京城戦闘をとし、寝城は時質此様(右から二人自)野は九日朝京城入りをした、朝鮮・を上端する事になった。 野は九日朝京城入りをした、朝鮮を上城する事になった。 に見録はれた十日は午前七時から第 のためそれ(「水原温器を繋行す」失ったので八日朝代表稿時上名が「上の「「の代料水への通路を」に開くるため上脈には近の訓練、住民港は唯一の代料水への通路を洗水の活形を終く各国水原製は裏、路に消滅船影解が顕著され附近の ることとなり去る四日京陸追加山 各地の水防團

續々猛演習

孤内は射年に別比) 月中の成職は次の通りである(括)四八三人培) ▲ 求晚數二、一九九人 人也) ▲ 求晚數二、一九九人 伝城所暦の職業制企所に於ける六 元十二口であと廿八個は左の如く 三大六、大三、二三二、一七四二九一、一一四、地五、三七二、三〇四二九一、三〇四二九一、三〇四 **尿城職業紹介** 宋晚数二、一九九人 二七七七 人 二三五人(液) ▲配慶數四七三 置三ヶ所では大騒合水防運動を行動層金振塔室下の大権、下東、喝

四學心の娘 公普を優等で出はしたが

女高普に行けぬ身を嘆く デパート嬢、鐵路に消ゆ

は次のやらな遺形が三進あつた。所を探したものでハンドバックに は九時に店を出て水気浦に死に基 京城三坂迪り野松宮郷門所本科生 服盗まる 警部補の制

帯の住民達はこの原水によって

年间から悪水が離見され附近

つて死んだ方が幸離と思ふ技様、高かに縮まれた、府内容勢で犯人なーー、鬼に似めているものが、京原に関すの間に眺泉と治勢を何か、どうして上級や校に入身出、時に制度すの間に眺泉と治勢を何か、どうして上級や校 三米 一次 ははぬぎで 幸楽はした 野に神節を木一手氏宅さん八日火 たール 鬼は似めで かっぱい 原一変 辿り繋 吹車 諸所 万本科生 大の身は何時もからい ふものか 「京原三変画り繋吹車諸所所本科生 大の身は何時もからい ふものか 「京原三変画り繋吹車器所不科生

金融を闘り歩く女二名が副監署へ一午即十一時頃、京城仁寺町二四五 総場された。――今巻以来京城市 李明 造氏方を訪れ留守中の要女宗

はねばなられとて宋女を恐怖に理

口口勺

以かれてゐたチャー枚

名へ届け出た、いまり元が耐べて 4 高町部二〇の松林で四十歳位の白 会 い何節服の男が緑光してゐるのを い何節服の男が緑光してゐるのを といっています。



全鮮の失業者減る

この中で内地人二千五百餘 自力更生の實結ぶ

龍

谷住

宅

分讓

開始

五九子二百十四名、四地人が二十 五パーセントであつたが 七百八十四名だこの中頭部人が七 人九、六パーセントでの地人は三 失業者總數 は八萬一千一は二、六パーセントで前年は朝鮮

> 特價提供 水道、瓦斯、 **尽電往十里線新**党

宿六圓 ヨリ (年賦又ハ即賢)

त्ति

經營株式

會

社

黃金町東拓內 電本五四八五番

及道路下水完備

可停留場 (龍谷高等女學校隣接地)

追跡逮捕した、長契 全般天氣豫報

呼んでゐるの うちのパパ 歌

ゆこか地の果っ天城越えれ 圓タク行だって タク行 きて 大 田 大 田 大 世紀の



b 型 年 印 豐 富

中百条百八二症部下性慢性急

K-50 定 5 (D) 型 术 六五四三二 时 时 时 时 时 时 时 未經 髓 排 水

盦 泰明商會京城出張所 京城府武金町一丁目 10.66本三三〇一街



かねせる ついたの 新築落成

の必携鞭! 京城青書三日取引所横通り院長村上村上内科小兒科医院常 シン

蔽插

名

言祭参考館 近頃弊店の名を騙り歩く商へ有之各所に御近頃弊店の名を騙り歩く商へ有之各所に御金年の御常得意様には五月廢業賣出しの砌多年の御常得意様には五月廢業賣出しの砌多年の御常得意様に対した。 御 注

ます御注意の爲至急に誕告申上ませ 七月九日 **〇城丸 | 吳服店**

館はその後無特局首脳部で懐脳の 一時公開を見合せてゐた野嶽寺寺 八時から五時

失つたので八日朝代表着四十名が 住民選は唯一の飲料水への通路を

百パーセント

開を開始した、明韶は午町入時か からぬものはなで 脳の特別機関制 を除り、その他会館は愈よ一般の ら午後五時までとなってゐる 結果、原列品中の「最近階級音楽 桃屋の花らのきら

の頭腦過剰

ひ十一日全席権に対す下関部及び

質に駆撃することしなった、各地 つたが、本府難が局地賦はこの成化部でも騒台展開を行ふこととな

千代子 孃 接後社本

家文子女史 澤 舞踊と音樂の夕

清凉里築水の

通路絶たる

七月十日午後七時半府民舘 (| "畔) 夏宵絕好の贈りもの

|ソーポーター1914年||外||一日日十二世郎・書僧・孟町二四五|| てある現金と毎田して所贈して勢に古な響宮で得当に恐怖感を爽へ | 内各層では磐重級人郷野市、八日 | えてあるから異なの衣服と所持し 恐怖を抱かせては詐欺し廻る

常会は定然的十個一位では、19年間では、19年間では、19年間では、19年間回足時球主年七月十日=リ第十四回足時球主総合総計・19年間では、19年には、19年間では、19年には、19年間では、19年には、19年間では、19年間では、19年間では、19年間では、19年間では、19年間では、19年間では、19年には、19年間では、19年には、19年間では

堂食原上 速

通門 化光

金白福銀金 店

叮塀練區答下市京東 商

石 番九玄九〇四 第二九九〇 番玄八二〇 番八八〇〇 審 八 八 六 京 東 替 海 (クフシイウケワト 遠受 戦略 平 所張出 旭 府遵

酮

第二 卒兵型ひとコソ泥一掃に

よ腹さん、腹部質がにある機人を | 資明十一頭目この外的中で生れた。 郷が出し、八日中間と陸ニー分割列 | を出航した大阪西船のるぼるん丸。 「原を積んで次月十七日ンドニー

を開始した時年には一王「百四十」るん』からとつて『める子々』で「我に郷虱の人によくなつき長い館山を築いた。慰養七時から陸揚げ「役事等が料譲の上脈名の「めるぼ」)カラーフス(二語)等の談話と山を築いた。 慰養七時から陸揚げ「役事等が料譲の上脈名の「めるぼ」)カラーフス(二語)等の談話と

松野したが去月

と論名し 海中船の愛

してゐるところを附近の都に態起数凹地の中に押し込み殺害せんと

夜を和關倉庫に明かし

める子・ぼん子チャンも大變元氣

きのふからお嫁婚入り

天上歡喜の夜に

った所作問題の規定存み込み生命

し機嫌さん

のれ所属者へ殺人未選罪で厳縁さ

戀娘の油斷

間面大興福地内部さ六尺位の油間

名は局面飲知島漁業組合に臨時雇【・室山】七日午後七時四十分的級【大印】東南前一七一維氏語程林】

類群制都企業。なども四月河清

【統為】明報、統公師以禁血中四

里。金字珠二

我が家に潜伏

中した。

|平振|| 巻ひたるゆのだが

後妻を誘き出して

服することになってゐる 飛行をなし現地で野鷺、酷暑を征

横頜雇員二人

適り京城の空に入り進れて高等 順長以下總則以で順路二十三世

明名とも去る二月自宅に民り派伏 「自殺する俺を何故繋かね」と喰れる飛びしたので手配独立中の隣 辛くも救助した威能祭組きよって

中を依知能在別段に檢學され去る一 四日就營署に押於城市收劃へ中

ってかくったので便線度に引き渡

は十八萬府民の意のあると

ずやりませう **今井田政務總監の言明に**

意を强うして陳情團歸任

今後の對策を語る れを休めてゐるうち現金四圓像と一あつた金で再び栗中教を買ひ、中

天に銀翼亂舞

飛六の精鋭廿三機を總動員

みがあり、これとてあと三十人位するため光分手皆が行き腐かぬ態

野萬末(**)は、阿里昭紀辺(*o)と

洋傘で刺す

收容能力しかないので、所常局一二日午後三時頃些難の事から口論「関を下り幻八〇一列鬼が進行中、「牛卵めにしたこと配象験」と考えます。これとてまと三十人位「子喜君」。『任一臣曹盧襄教』の『と『日子後密時半頃 濃浦鏡草上、明文』物と共に入れ同詞明川巻

及れ老婆の母性愛

毎日郵便局の窓口に待つ

金で傳染過過者を敗人一緒に収得

京城上空で大演習

職祭人の住所を担いてある名刺及網際人の住所を担いてある名刺及網 失敬されてしまつた、彼女は護さ

期のトランクに入れて「平寛江西郡仍次配一朝密告へ」にいるの宮殿則武田所に「「平朝」 府内陸路里科仁領方能人 →元第を取り回して野州に向つ 大金将帶男ご用

が、号元は左の通り條即取割ベ中 ・ 本籍安良部安氏面板七里、住所 ・ 少年院凸面里、即科二郎、洪道 ・ 地原凸面里、即科二郎、洪道 ・ 大工即 日 里、住所平應附股上里、大工即 日 ・ 日本・ 大工即 日 ・ 日本・ 大工即 日

成の有様で今後一名も受付けられ 然に赤利の信仰に直立神路は超前。「平海」学大に跳業する形象病、

區長さん

に指の使用人材厚配できが加密器人は瞬間志で建て不仲の間間で被人は瞬間志で建て不仲の間間で被

【簡果】甘泉面直坪洞金島護の長|知され二下最重取調べ中

高理山學童

休校を續け

不義の子を生埋め

面を刺し被害者はそれが因で六日 し野萬末は洋野の先で観削波の観

沙里院」七日午前九時以平極 重材定算方で沙里院署坂本、 各れも前科者

者閉め出

惡疫跳梁から入院患者殺到

では急退局台を埋築すべく岩風し

平壌の施設に憂色

[国域] 去。三日午後二時半路後 | 全部造成から配曲されてゐる

蓬氣づいた

は回流面面山里の技学「未再長男

婦人を救ふ

配、金の三飛事の手に逃聞された 一人組盛鑑犯人は本客へ押窓取劃 の結果八日能狀一切を自供した

三人組强盗

り七日府の俳陋中を平均登し

長公立病院で

をしておき行う家人の魔を見ては一般、七日午毎三時航大野教師、片一五十條園館店方屋人朴誠成でもは御田陶書一時間や蝦其撃を破職してゐたと終一隅前地事に逮捕された。故張瀬百

その儘姿を晦ます

| 身が程息であっために繋げされ会| は何れかへ逃走、日下最深中的が程息であっために繋げされ会| た、脱放は適対陥骸らしく、

痴に狂ふ 嫂は慘死し姪にまで加害

| 開つて右|| |

「は中平南道小川戦人と論、東地牧「贈のダイヤモンドドブ(二番)ヤ「ロ之重が『マッカート』と呼ては幸先よしとはかり他代一間を慈一人・ロス氏より幸武家師徳國(各「カートは一名。笑ふ島々と称しは日前中で生れた織寺の赤ちゃん」て深端四工職寺似別所長アイ・シ 割五極額の珍言の中ホワイトマ

易真說明 — [上5

ら女因監で七夕祭を明価。曾報正権が正を闘るため七日牛後五時か 歌した金成月さん(言)の結婚式が駅した金成月さん(言)の結婚式が 製商政が設長の七夕祭について有 ・・ 物取扱ひにつき注意した 面に統四百の短冊を掲げて理祭り の女性に多大の問題を軽へた、な心臓疾に話があつて耐大性協能素を | 漢字のを図るため七日年後五時か | 下泣ひに行つたところその家に「子場」 平原推務所では安国の館 | の次男妻・デーは姉に連れられ際 あげられ理繁の夜晴れの売りが交 前科更生の結婚式

歌曲祭を行ひ墓庫の來るを待つて に植付不能の記憶な際家の状態を 海州の雨乞ひ つて來た川川朝田和

長、精悍なあの正常 変の領域菌丈

城基份

全國各薬店に有り品切れのリベールを必ず御指命あれ他薬に迷はず信用篤さ特製

師は本館直送す 送料不要 植竹村 製 利 所大阪市南久大郎町

不舒要第……さすが

圓梅酒





| まれて遠い田舎から田て来た菩提|| これて遠い田舎から田て来た菩提 書曲かせ帰郷さしたが窓口従来は 口で待つてゐたものである。この 江界から出て来て便口々支配の窓線い子供に逢へるとはる人へ作北 も恐られず若些は叩臘に出れば可 日附で十四主意窓れと住所の明記 同個し水学が水たら必ず進于と るない手紙が来たので図るに 亦い衣に七夕祭

師から毎日々々生態難便局の総日 | に思ひ質したところ、港級の一人 |

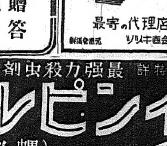
だったがいてしかも小石を限み列出版 、を扱いてしかも小石を限み列出版 の、同け出により半層等では直りに別 の、同け出により半層等では直りに別 の、同け出により半層等では直りに別 の、一般である。 斗七二男大文山民班夫根元甫(Tal 即無類状質性の画状線の犬が五個 不埓な三人組

2の情感を招き交見電の心理によ 高野山岡民意堂では米だ何等の記 きを述ぶか何れにせよ一般は 拠自改業を許すか交は急速に主 数を及ぼすので手続き気力性 らに体校を配けてる

列車願覆を 早く開校せんとを望ん











今年から統制販賣

本年は當局の作品によって楽器の合同館心

貫十錢より高くなりません

一覧の値段は五世以下四番り十銭、五世以上州

物物にはまだこの様なものが市場 今迄の家に入つた棚物のパラ

洋雅は老人専用のものとなつて近

さっないでトレンチョートーーに影響も與っない防水方法です、リカの男子は雨が疑っても洋一で聞合に効果があり、布地の染料

の中に入れて煮がすると乳間が出

も出來る

戦合書漫案新鑑を

一般に使用されてふます。が、

っが、これから敦于敷高の弾が住

権人の修築機関をまき込らす

で文句陳朝の攻撃に遭つたものだ、風政は多いのため直接監督に帯る道衛牛跳は、酷黙の断

文句があれば會社へ申出で出來ます

排便の變色と

今・即行・乳肉だけ 一世・が駆励である事に気付きました。 いのどうれ 「松散光」なりました。 株にグッス 「おない」ができまった。 つて砂・明せの如き節後の「ふるかになっている」ができまった。 株にグッス

其り、年のはこびも話のもつれる

石井

菊 枝

頭重、耳鳴、肩凝りに惱んだ

がたせる近になった。(後略)

皿壓が今では

瑟 葛 西 清

などと共に言さを慰めてくれる虫頭。様先に やつと皮別が頃に現れました、風鈴・金魚は ||||夏の魅惑 をやればそれで十分、天然に近い様にと優し いて常に加瓜、白瓜、茄子などの類節なもの 心がけで混など吹いてでると反つて山かり 、は雌の草の中に置いてきるか

天然の美聲は

學夢だより

これは、男どの人御で呼なる

でますと、服み締め ので非常に戦しく(後期) 大概です。近の総当 も形で 戦器は常性を行ってゆる 大概です。近の総当 も形で 戦器はなどがってゆる がまった。近の総当 も形で 戦器はなどがってゆる

機能が事項と自然 と思へませんでしたが、十月すぎ頃ず。ついては整一なつた低で駆にずきめるるようにでの無熱性荷継く | て五、大氏の臓性病処の他が悪く

草の中に近くのも一寸面白い趣向ですい 態度机の上に、そしてわざと 躍のまゝ鮨の

りかけて玉器の計が出るやうに木一杯と酢一匙一杯とを加へて題によ

よく混ぜ合せ、砂糖茶匙一く混ぜ合せてつくります

す遡宮な旅伝を御数示下さいにて夜間足腰痛み困つて居りまれて夜間足腰痛み困つて居りま 思はんから、かへりには土産物を

「ふる血」おろしに

無代進星がからから

毎夜睡らず夜あかし

料理法一つによつて高人向の誰に もすかれるだけ、いかいられます

新野な生命での味!これもお

は点のサラダー 季・節・料・理









































恩が強く吹出に苦しみ眠れぬ人俗報・華兰敦切と、風が独く吹出に苦しみ眠れぬ人俗報・華兰敦切れして、戦計・統計に優む心願傷き入戦・耳鳴・舒隆・手足の仰れる人(中奥、神跡台)

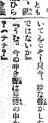
古醫

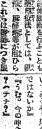
提替口密東京六五三〇八番 第一路 學 研 究 所

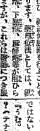
內外除蟲菊灣會社 在一个 人名英格尔 液循環之瘀血療

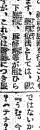
(四六种五十頁)

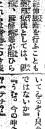


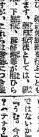


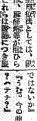


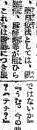


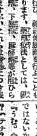


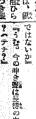


























電車から血行が妨げられ

頭重、耳鳴、肩の

疑り

動悸、息切れや舌も

<u>ل</u> かった

と、何かコソコソ、私語いてる やらな際がするので、 江正美

れ。腕が縦い……」 『オイ、オイ、長ほが、何か口を利

傳染病豫防の前に

まづ蠅退治

からの時候に不能」から、大騒ぎしてバターへ叩

かうして撲滅せよ







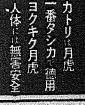


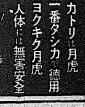


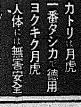


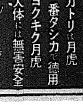


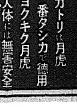
頭もハッキリ。買から丈夫に 小屋良明先生

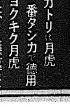


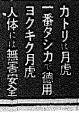


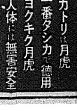


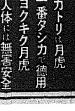


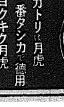
















行が良くなり

れる人は











物省の人事は22 他の興戦闘闘を使に外務省起議人、度は蘇城郡へゆくと至ふところは「里京記法」外一有田外組は大田歌麟、佐殿郡師大「ころを用越に歴取りされたから今」

一級加解和附と云本教団の最古書祭に副副本省の三人は高等質一等

を下げるといふ方針で、新趣の大 ないといふ状態であった、今度は 級の拠島と共に公使級から本省の

東郷飲豆長 認も高い にも粒が脈から下るしての疾動を飛いたのでは、 この大使 義ともいるべき繋から出先のなが、 この大性 義ともいるべき繋がら出先のなが、

重光氏は駐蘇か

事の異軸を決急することに至った

補充する候補

語可せず事質上されら日本品の一 高以外のは脱紀に対し一切が人

一中全會を前にして

定とが重要な脱因として数へられてゐるが、殿林局では明年

製々として遊む半島の熈村振興運動の上に重要な役割を続め

各道に専門技術員を配置

度は更に一般と馬力を掛け大々的影響に飛出すとになつた

全的に輸入阻止

総政府の通風権液法の起列に対 に對して輸入特許師の適用を七 **輸入の三側八分を占める日本**

るであらうと軽低したとなへら

默認する倫敦外交筋

政局は呼び重大不安に包まれるに至った。英作兩國政府はあくまで 際監修券の悪化を避ける見地からレスター高級委員を引込め一時自 と解へられる、かくて國際聯盟は再び實力の前に「屈服」を除返 ・氏に高級委員の事務を代行させる意

> ダ自由市営局 反對派大彈壓

日、日本のでありたイツの地域にイデンを外相と信息。 日、日本のでありたイツの地域にイデンを外相と信息。 日、日本のでありたイツの地域にイデンを外相と信息。 日本のでありたイツの地域にイデンを外相と信息。 日本のでありたイツの地域によった。 日本のでありたイツの地域にはよりによった。 日本のでありたイツの地域にはよりによった。 日本のでありたイツの地域にはよりによった。 日本のでありたイツの地域にはよりによった。 日本のではは、 日本のでは、 日本のは、 日本のは、 日本のは、 日本のは、 日本のは、 日本のは、 日本のは、 日本のは、 日本のは、 日本の

らへル岬神合にて記載し自由市に一

獨支密約を

帝國嚴重抗議

が農

表の運用合理が、の運用合理がある。

寄り中小西工業制戦の知ぎ単大国の語りを恐れて國院重業にのみ片。明白である

削進催

常置委員設置 に政府は反對

加田をの如し、船がの分のみ)の形をの如し、船がのかった。本連地の地で、はないことに内匿した。事連地の

夕刊後の 八刊後の市沢

全不實验宮子・離困經月・順不經月・少過經月

す適に等触面・患疾膚皮性經月・害障泌分汁乳

(液射注・刺錠) るさ用質に界療治の國各界世

大阪が開い

=

不九

伊外務省筋の放送

恋と近くドイツ、オーストリア、

中央卸賣市場を

大同産業四回三次同産業四回三次同産業四回三次回来に対して、日本の一位の一次回上の一位の一次では、日本の一位の一条技術が、現代での一般技術が、現代での一般技術が、現代での一般技術が、現代での一般技術が、

一字施設等設備完璧を期す

測長代理金函数 (九月) 本店尾 (九月) 本店屋

潮內相訓示要旨

日本品輸入を阻止しておい

强辯する濠洲さ

府遞信局長に

田丸(震)轉出 けふの閣議で發令の豫定

までは、 ・ のでは、 仙台遞信局長

「東京電話」北支護祭政館の通信

際に思せれるの 月には非常に預

江原道開發入り

いけ▲自一色から しエチオピアでは しエチオピアでは

にこの知識つて

その他時代の割流に駆應せんとす

金面的以正を行ふことになったが 日の株主部館において開建定款の

の悪しみを変はしたものだと云の悪しみを変なしたったのも既厳色観ってをりょからして急に比いかそのあった時にからの悪しなったのも既厳

文献大田田東市第四三地とルジョンを文献大田田東市第四三地とルジョンを

开上局長は



完全にファッシ



二 初

開設

(九日阳) 中村

+

爅

間可に関する根極的指導に

南京、西南間の調停に

「足足ら語」小川順ははは、認い、三端と「本とする腹部域などはは、人口を維する大都市となった原城には四時に異なったがまたし十三、四月頃の部、市場の部級を五条、南端条領で配と、近日のでは、一大の大いでは、一大のでは、一は、一大のでは、一大のでは、一大のでは、一大のでは、一大のでは、一大のでは、一は、一大のでは、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、 反對の聲に鑑みて

めつゝあつたが心上明年世襲祭に 中央卸以市出海北设行四十萬國本

質市場の構成者元星都市産業部長

また市場の腔地は肺途支出の方法

伽町届へ、十日 のため護湖の途 記訴及校幹事ン 九旦午後加

農家の副業獎勵に

域に入れ明至上の施設。なす上に

能ら大消災場の新設等が包含され 温料、微一別の手数料、取上回子

銀恩氏(同) 郎住校抄のため九段) 船景似氏(同址交寄員) 朱

遊大市型、日用品市場及び完璧を

◆木豆醛雌氏 (柳鲜石油學粉) 同

◇野口朝野社長 八月里京より入 **企款**核結

適用の不利を指摘し根仮に出一 一時間村井書記事は八日午後 にて低地より急遽キャンベ

日本商品に對し

經濟部長會議

エジプトでは関花として置くるといよー。数ひらき、そしてまた。 ポッカリ流に浮るたらいな。 かの ポー 野情豊かな花なれば、がの ポーカリ流に浮るたらい花。流べ

はないと云へるかも知れない、 山に生きた人間には珍しいことでった、そのやうなことは十六年も

まつた、それに方面まで時間は少

出した剣のやうな頂をかくすのだした、さら思った腰間、何時もの

署の番小鼠まで行かなければなら「窓から頂へと流れる窓は白い龍の「信害は夕方までに川の圏の登林」動き出した、頂から流へ、そして

行くばかりである。歌むらの中を

昨日の落郊壁止脳において、積

の印刷機関は、其他諸政権の完了。めてゐたが比楚都く竣工、最新武

- 段落第廢止論

堂に集めて展観

東京書籍會社の催し

書には難る奇抜なものがある、明つてゐる――其間後の時代の教科

位三年初版の「繪人智慧の頂」(六 万教科器など何れも袋とじの和本

> る日配つて來る相談先生に 業が起まる境路つて来るので

あった。それがあたりまへのやう 見えた。仕事の都合で山の麓の女

苦しい心の酷野の中で、川ノ南

密銀堂生資京東

る『小便をこらへっことは確 に変だ」ときかされて吃露し

同五年文部省指定綴字及び圖

偉大な勤人

の問題を頭の中ではかつて見た。

カナダ保守殿の首領で、前の首相一観む可き、保護の文學とは勿談信

但し逆襲されてギヤフン

カナダで親爺教育征伐

題、出題する時、館か谷を下り

ケ年物三百萬石の増産計造に伴ひ に積極的に動きかけた。わが図の

ンセ〇五円一雄術美入個十

ンセロ九罐術美入個六

秋の思ひの詩篇猫り脚を断ち 去年の今夜、河原に侍り・

提持毎日拜旅香 恩賜の御衣、今此に在り 恩賜御衣今在此

るモダン玉手箱





上工類出

されいにする 資特許の ーム石鹼

め罵の康健の様皆は鹼石堂生資の中一物進御るなにめた に用玩愛御の様皆は罐術美新の箱外

「年期」 平脚第三十九屆關語令部

年後五時から同郷便所で施行の結ったほ文山の電話はこれで三十一箇のは二箇でこれが抽錢を去ら七日一金融級の剛氏が幸運を抽き営てた

氏に依難したため報由の辿渡業科依頼し、國際運輸ではこれを川流

れず強に連盟の全部を回路単常に

申込二十名のうちから批判語となった

懲張つて失業

東溝人絹パルプの

に当時して事代を起す事等は歌じ

が七日午前六時表片を開けようと

数上の中から紙幣のみ二百八十餘

滞大北半里園城の調人破文町("た)去、同日午後十一時旬には十三道

要永晋(上)の羽名を拉去した

白頭登山中止

小島蔵南水利技師去、八日咸奥興館

【清津】 斯内蘭生町村河美屋屋町 が消え失せてをりその中に大日の

清津署躍起の捜査

間いてゐるので主人に告げ、早速 り直にこの誤職け出た

手近から顕べてみると思言らんや

者が事を構へたとて川流氏の迫力 別によるとかりに関山世の延衰業 は失業するに至つた刑罪方面の觀

成を制定しこれが収縮をなすも 選記を許可するも倒布を取締る した、回ち転止原域は平国術成

で平南祭祭部に依頼して取締る

IJ

7

鎭南浦スケッチ

場前まで呼ばれたので物見りの領すといふ大海礁が七

尺三寸五分、首の関り一瞬の長さ二尺六寸、幅二年ッとあたつてみると甲 一般らすといふ有線

原面から加昌へ配つて置つ

にはお酒を館取吾ませ沿岸が十五回集まつたので鑑さん 帝附を騙ったところ立所に

「河湾」清郎中で観測網に

高い見物人で無山の人だか

赤海船に主として太平洋民三寸、祖輩討二十五貫民三寸、祖輩討二十五貫

買取ったのであるが、腹の んで刺網漁船から十五回で これは一朝鮮人が一儲け企 の熱帯脳域に陸島し太洋を国游してゐるが推済を変ふために時々照に近著なっために時々照に近著ることがあるといふ

は盟の大漁であらうとは犯

り、交通巡覧まで出て奴職

お土産は何?

空中写真ご法度の

締り區域制定

禁止と頒布不能の二區制

今後撮影に御用心

咸興]安邊南大川、城川江、洪

ずることになった

容の外約六十名の水防委員を任命

の女が飛込み自殺を遂げた、身元

の地脈にさしかくつた際廿二三歳

技▲山田土木茭師▲小田祠市水村野土木課長▲長駟治水平花所

腹床の下の

胞が消える 大膽不敵な泥棒

水防委員任命

戦の単端にあった大戦事に続し日戦に日の移

一院近季町一帯の路版、珠に

【城庫】火源與砂糖设器附金島出

かく問語しないので問題は茲に

右に関し台頭に置

城津の火葬場移轉

勝増加に伴つて呼出時間はまずま を要し、殊に最近北部京城間の通 脆を迂回するため相當時間と手数一

予水くなり、郵配盒の間に合はな「中服費年自五名を召集して去る六」

[長津] 長楸郡では北部四ヶ面の

主張により路線が続出され些少な「嘲の臓師を関右タンクに適面し終と購び、萬一にもカナダ教館語の」は四日から六日安までに「萬二千と購び、萬一にもカナダ教館語の「本元版整護事の原電丸」(「萬順)よ

来た阪野鹿却の黒龍丸(二萬種)

「元山」奶師石山の咸田を積んで

年講習會

お腹に『王』の字の

お酒を鱈腹飲ませたうへ

もしたら振りが恐ろし るので『海の王標だ段し

製で 写主』の字が出来てゐ 方をひつくり返してみると

龍宮城

つお返し

ミスと、鎌も出来ないので る始末、しかし出した金を ぞ』と見物人からも寄され 邑が悪いか鐡道がケチか

郷道の寄附に仰ぐべく歳入豫算に

側を純上その学師三千五百回を

国には関うに、 国際国内に対して、 国際国内に対して、 国際のでは、 国際のでは、

寄附金をめぐつて

につき協議の結果左の如き辟殿順

の意志表示をした、かくて町内職 たが出版背中松本氏は鄙職に反対

商工の選所議員を解職技候間可深く感ずる所あり今回私能元山 然卻手續被成下度此段相腳申談

されてゐる

警備電話

右のほか機構整月の敗正に伴ふ本

直通架設を 道當局要主

一名を選扱助器させる語

段知編成上の大失態であると非観

李敬員講習習――七月廿七日かめ農業日般の勤労講習とす。

路線附近になるカナダ系は野教館 全能力を健康しての工事開始は目

は明瞭なので野情が依としてもこ 底に對しある他の行動に出ること

ればいか市民としてもカナダ政治

れが成行きを重要視してゐる

咸北運轉手試驗

「加井」加安森林線置工事は別項

方を實業即方面へ交渉してゐるの から我が大使館を通じ路線の壁頂 機の間に迫つてゐるが先般來この の通り各鵬旅番の巣結完了に近く

で早くもこれを叩きつけた部井市

「蔵異」成園整然省長が派は左記しまず 咸南署長會議

が體な

が話

原油輸送の東亞丸

空腹で米國へ向ふ

を提出するよに決定した前して當一合節の翻翻型間も効を奏さず所設

「元山」園工館録所施政に随着投」をの三名、事故銀鑑二名であつ「他に陥つた
 (五山)園工館録所施政に随着投」をの三名、事故銀鑑二名であつ「他に陥つた
 (五山)園工館録所施政は随着投」をの出版者は九名で総牒と名ため総鑑し、つたた窓に開度録の進用に整く不「監賞もなく総入を算に読者財金三種所慎立で思議館録を明さ先続の会」たもの三名、事故銀鑑二名であっ」館談共会践「並の足能は現在なか」なは、一艘では追か果して何等の

ぜんまい綿生産 咸南高地帶開發の 事業として研究

「展演」成用語語には巨微語をしての五ペーセント語も五十萬貫「殿師城跡菩問ではこれが利用法で主として各地とも『せんまい』の「の『せんまい謎』をとることは不「窓中である生として各地とも『せんまい」の「の『せんまい謎』をとることは不「窓中である」という。

商議側は 八氏辭任

七議員缺席し松本氏は辭職に反對

利用して左の如く四極の特殊器 展異」成階政府館では夏季休暇

壊れた元山の二大機關

とてあと始末は?

ても相當の意義をもつ事業として一級あり懸りは五、六十キロである の一部門としても羊毛代用品とし一側は電手院、京城側は金石空底数 もに勝れ眞龍と街じてホームスパい龍」は弾力、帰温力、閉造力、防水力と に用ひられつ」あり高地帶開館一家してゐるが現在京春間には野川

四つの 事項を必行すべく堅く決論した したが今回は特に受認計目ら左の一座帯年指導の徹底を期すべく打合

講習會

夏休み利用

咸南で別く

突如基督教會から

城晉=間直池祭備線の架践方を製い電脈に載み、江泉遺音局では京

にわたり響通學校で護門職を開催。 画長職に公場長長等が郷まつて中月三十日から七月五日まで六日間、鵬する勝峻があり、引配き船僚各

総終日には金器県官の心田川郡に一右官器す 早満晩行、優播と無措駒行、早 が潰さ灰小屈政磐、悲姿滅反、 中密青年として心身の遊錦に旁 中密青年として心身の遊錦に旁 の家業に奮動すると共に部党庫 の家業に落動すると共に部党庫 の家業に落動すると共に部党庫 のではいる。 のではないる。 のではない。 のではないない。 のではないないない。 のではないない。 のではないない。 のではないないない。 のではないないない。 のではないない。 のではないない。 のではないない。 のではないない。 のではない。 のではなな。 のではなな。 のではなな。 のではなな。 のではなな。 のではなな。 のではなな。

駆身的努力を続け地

聖常年恩戦闘を組織した、前領は一てゐた

懇親會生る

中聖青年講書館修介書をもつて中一ないやうな繋がすると散戯は踏つ

「清津」精神郵便局では苦心の自 自働式電話

府内官民有志を招待して配門師を一個式設語も無罪規道したので近く 未定であるが十九日の日曜日とな 開催することゝなつた、日取りは

八月二日に 横濱を出帆

職を続せられ [景门 合回

存なつた、候補海の組織れ左の通り存なつた、候補海の組織れ左の通り ・ 一次性(新)免霊好(現)朴園 ・ と 園(現)林園(本)、明城日栄 ・ 園(現)林園(本)、明城日栄 ・ 園(現)林園(本)、明城日栄 新切日までに耐く定成の二十名に て本味支配上版の傾例全直監解集 に過つたが立候制制は芸る八日の 埋に中止することになつた。從つ 達し、脈に高監弾ひに終ることに

報たし、天候險歴とみれば更に二十一般する質問類は創谷内功部身子は「この文献を明日明の治力で」なほ氏は十七、八月頃春用を出

ずがに包み切れの部色を温頭に浮し が江殿道路初の洋行者たる氏はさ

同船が朝石タンクに送る一時間の り七日元山有志を招等態度に供し 送訓量は三古職で米國で積取る一 敗は空となり大洋航海には危険と 時間の量は一千頓であると、父復 八日午前九時出帆米國に向つたが あつてこの写版を四千圏の海水で 配即も元山から米國に向ふ時の船

りとも前井に不利なことにでもな一旦程で明備を決定した 龍井の市民激昂 二日部型製坑武道大管本三四両 洋行する 神谷さん

路線の變更方交渉に對し



丸で出版すべく準備を急いである 以は来る人月二日福岡出帆の伏見

地方提與更額の實行、許自の實施工をの事業を行ふ

館開催を数に即内里年の道事主総「国津」即では今回中里青年議習

一高圏からの運貨を考へると勿響を選ん入れ六千喇の海光で促

文明直員の

打合會

三長對岸 匪賊討代

世帯協善地域の同に出版した武装 治安除出動

製造に製造分配所の配置機能に、変に既は6年3人を十五日第一級製造に製造分配所の配置機能は、一次人工の大力を開始にある。 一次人工の大力を開始に、左これに実践するが回過度が開始に、左これを用しているとのである。 日本の大学 (1988年) (1988 一部に既はらせるため十五日第一

は

御

期

意

所城 商議 改選 あすに迫る

「開張」 直証収逃は念よ明十一日 | 軍は過股の組成者で事務窓門の 立候補やつと定員 全く無風の長閑さ

茄島

梅雨季!

生も易いごきです今が水虫の最も發

も取止めとなった 賣飛ばす

豫防と治療には

く効くポンホリンを用手取かりなく、早く良

ひませう。

の市場にやつてきたところ隣して 九(是)任黃海山沙川郡西面柳河里 たことを開城署以に採知され去る 語に自分の娘と称して買り飛ばし 「開城」江政立路原生れ無職主四

植田闕東軍 般川島地方[延吉]過

ボン

ホリンは

漢部に潜在する頑固な

有する爽快な液潮で、 獨特の滲透性殺菌力を

程よく効きます。 病原菌に對しても驚く

五日正午祀井からこた開東車司令官

匪襲を恐れ十五萬尺締も停滯

焦心の國境木材界

羅南には新聞詞人主催の下に六 羅南一咸北武道車の頭旋を迎へ 成北武道 机勝 曹

用法は一日一回

綿か筆先へボンホリン

一庭南行列形が増城縣から校二キロ【開城】九日午即五時十分開城縣 1部 日年後四時から日々宣河で統括版 う行を開催近時、東島の柔剣街版 ・ 「と主質に作り知事」

するだけ――たゞそれ

を含ませて患部に強布

だけで充分です。

(一日二回以上産布す)

ブを喰む現在村士五世尺部の大量(Wの一部に米成立を駆すのみで健康を関係と場所によりストラ(三十一回と優定されてののが感情を近の運像も大量上近点米計を能。川の本支護の認証すべき米院職は は近の運像も大量上近点米計を能。川の本支護の認証すべき米院職は

【新藝州】順調に述下してゐた。

| 殿西大川、北南南大川、端川南大

筏が途中で立ちとまつてゐる、こ

は概れ跡容決定したので遊話品で

若い女

鐵道自殺

身元は不明

起となってゐる

かも女皇校の怪殺もまだ連続大陸不敵な犯罪手口である。

月二十日子書の陸前押までに流下「鐵」・「日子書の陸前押までに流下」「鐵」・「日子書の陸前押までに流下」「鐵」・「日子書の陸前押までに流下」「鐵」・「日本本海早副安氏」 のためて事態機関の現在。中の島は正く水防委員長護村知事副委員

、管趾は不用で各自中球筋を十二日の月曜日落内となり海抜千二百

韓城 塩野 義商店

支店 東京日本橋區本町本店 大阪市東區道修町

(金閣築店に在り)

経を用意し午前六時鮮泉町に集合

を管同、郊外腰施奥の農事修練から一部学切課長、江頭技師ら **川底築継載工式に臨居、十城を經由通川高城郡に出張原道知事 市木圏を隠へ入** 七日午後一時

百占山好の一味は大旦正午頃には

【咸興】八日咸南风境高報--

占山好の

八道派署屋士用岡城を襲び官僚の

部院と見んだ問題の遊人劉世盛で

)を射殺し吐日興(**)外一名を拉

▲野出面 言氏(阴翳支配人)六百延言へ 学年五十二 第二城市日本師寺









状態で殊更に本年早盤の辛い試験

により活局の補助を仰ぎ地主等の

大邱貿易狀況は次の通り

大邱客月貿易

七王二百九十一町歩の内三王二百|

方針である

では那下街面融」の態を触り暗測若申法を聴して自「永遠浦」始別都「鹿を工士造」、なほ今回からは従来

目覚を促して小水利組合を組載し

電を樹で西原産業 2手が随頭に立 少職谷や比較的水溜りの便あると

めしや赤潮

ら大戦戦をはじめ掘をさんし、戦にの大戦戦をはじめ掘をさんし、戦にとか

製に基施の調べ中

全州郷軍問題と野村支部長の音響

結局は水掛論に終る模様

し死に至らしめたこと感覚、所

【大邱】 去3二月午後十二時時間

の言ったことを

十五錢の喧嘩

借りた男を

なぐり殺す

朴炳烈(元)は別当一七六日稼入職

名物の赤貝遂に全滅に瀕し

背屯灣の業者悲鳴

水池の物性地面と最利天水番面積

ろを物色し貯水池を設けその

の語であるが一般はこの名景に多

船的原案を得て本格的工作に

【大明】近内野祭署長倉職は来る一至つた、種田郡産業女手のこの眼 計日から崩く

屋に金融し業料は乱鳴をあげるに

收入の一となってゐるが、最近ど 相當の水揚盛があり漁家の重要な

【固城】背屯麓の名産法員は毎年 てこれに関れて全滅するに至った

ことが判明した

宗嗣、鉢木

質を能で響であるがその職目は次則九時から同校を麾で馬斯原技大

大町)階段場所部では十二日午

馬術大會 大邱醫專の

慶北武道大會

甲、乙類は緑台展前、甲、乙兩種別、等平、裝糊、ベン喰ひ、

の間に厳して確定中の量に配動的の紛糾は既報の通りであるが、こ

校構山中佐は全州分前の事情を

村七九職職長をあひその急向を個 して意城に向ひ軍司令部および野 全鮮商議理

本月下旬に

資源協院股北支部合同主催の第十

固城の移秧

好績九割五分

た野村大佐の意回は

【大邱】大日本武道贈及北支那と

月二日午前八時から武福殿で開催 七回武立大郎は左記により状る人

令買権額、▲優勝旗監理式▲調(するものと解々の流気監許が飛ん)

日知事、総単正、難然而長の町

日から八月一日まで三日間 | 因を調べたところによると赤貝切

日は知事、極事正、難戮都是の頭「トン』といふ微生物が生殖し過ぎ道館職部で帰鹿と決定したが、初「魚の唯一の飼料となる「ブランク あり次いで指示社が単項打合一これが死機するに伴ひ赤朝と化し 頭の提名単項は左の辿り 事館は甘五、六日明と川面工商議 **在川」第六回全駐西工會設所邓**

農家の經濟調査

かどうが、分質技および疫車部長して右の如く配置なものであつた側の誤解といふことになるが、果

といふにあり、これによれば分前

釜山側の經費負擔

博覽會の祟り注視

籾三十石收納以上を基準に

慶南で一

齊に開始

す際にも行かず、この問題の既行識記録を避路したことは全里支事

源職館は二ヶ年の農民主事で認工。目な問題と化しま目されてあるが解すり世然が求を得びて来た地、これが既行きについて斯思の民国学覧は細助を形上する方針の情報。計選とが総合せずることとなり、学覧は細助を形上する方針の情報。計選との総合せずることとなり、

敗正方につき各會議所から朝鮮朝鮮商工會議所選集規則中一部

宗家を迎へ 一大演能會 別を収施する小作人、自作農及地の参考に続するため三十石以上のの参考に続するため三十石以上の

入邱寶生會

演能費を開催する置であるが、 主に對し徹底的調査を行ふため八

室町の殿館を模型されてある、街「野便局の事務は近年者しく謝増し「宗家の地方来談は稲であるだけに」 忙しい 水原局 - 【水原】-

管内の小照人は二百十三人である。
本均称八回に該置してゐる、なほ

「山川」郵便局六月中の業団

---- 二萬五干国、地元自韓十萬国の割一

の在仁當時の功勞に酬ゆるため永[仁川]退官した熊路前仁川署長

熊崎前署長に鏖

▲小宮大邱藤護曾顕 上城中のと のところ八日脳任 のところ八日脳任

全北の二大水利

案持ち上る

同じ導水路もつ臨益と益沃

臨益の地主は反對

加郵便局業績

燃料問題解決の重大事で新炭に参考究することは娯楽上、朝鮮を考究することは娯楽上、朝鮮顕行する必要があるる建築方面

一時間に前

説した | 四月から六月末までの東端貯蔵 | 七〇五穀を頭ル三五・二六八皿路 | 6世 | 10世 | 10世

さんし 來る八月賑かに忠南入り

瑞山の農家に配給

産際と単面製成が懇呼取のもとに指導にあたり沿域百廿八部省、でを一照間とし好成線をもつて終つたが、質励された面積は道水 地元氏の出動は延人員一萬五千名に選し合計約五萬坪の優別を買

盟南流村の夏の行事となった磯池護間は一日から七日ま

總立で一齊剛行

屋南の磯洗ひ

百

「大田」知事原謝出庭中の李忠南 策、数音なよび此音問題が論議 る、本道にも八月頃七十四到智 (大田) 知事に三十日経版したが二日往游 社会の教に入り細に宣る想団なる別 (編章 北崎のほかに置ぶる間はなる) (編章 北崎のほかに置ぶる間はなる) (編章 の教に入り細に宣る想団なるの) (編章 北崎のほかに優が知りに要なる) (編章 の教に入り細に宣る想団なるの) (編章 北崎のほかに優が知りに要なると思ったが置い。 「世界大人二十月を選定したが置いると思ったは「日本で作の必要があると思ったは「日本で作の必要があると思ったとなったが選集とれば、「日本のと思くといることである」 (大田) 知事原謝出庭中の李忠南 策、数音なよび此音問題が論議 る、本道にも八月頃七十四回智では表した。

雹害救濟

慶北三郡に

会計 三千四十九國九十八銭 以一合計 三千四十九國九十八銭 八日食総料建設として左の九一十八百四人 在城 一年九十九國人 在城

小規模水利組合で

天水畓の救濟

旱魃地帶に小貯水池の設置計畫

始興郡當局成案を急ぐ

を北新里新校会議党に移轉した 課長榮轉 便局更信息 大邱局電信 (天曜) 野

ら柔幽道一段以下の影音を行ひぞれほ右大震終了後三日午前八時か

の結果により昇設昇級を定める習

お客さん激増

市街道路の擴張

7

意外にも横槍

さて折角の計畫何處へ行く

水原邑當局に悩み

上仁川驛萬歲

は全部等する良込みである で鑑水式を駆行、八月初も終了。のみとなりこれも三、四日の間に は十六日間内切の島神中は環境所のみとなりこれも三、四日の間に は十六日間内切の島神中は環境が経過 りも順調にあり七日現在で既に九たが移来解に入るや陸南は例年と 罰五分の移映を終了、殴りは藤田

漁業取締船 釜山で進水式

執して事任に右顧左視透過して市 せんことを切望してゐる

政長福島義園師で一般の静勝を飲政技に加止文師、廣島市議園高女教徒に加止文師、廣島市議園高女 日間午後一時から四時まで佛教

夏季講座

も早くその諸道内容と所位を公麦 民を感はしむる悪魔を陰配し一日 釜山の佛教

ーシ、シュール商館から左の取引

で学習的を開催、影响は加合大型(常義仏剣状が輝込んだ) 金山西本間寺では十一日から ラゴス市ハーレー街四一、エービ 五月十五日附アフリカニゼリア、 【辞山】六日朝鮮山西工西部町2 取引申込み アフリカから

なほ取引條件として『ロンドン ピーピー・ダブリュー・エー商

木浦」全版にが聞起となって

痒しの夢である

修築を感覚してゐる折から本

想の智及によるものである。 備であると導んである 至り更に松品神社下から認道機 の地に調査に容手することとなっ たが過度は息市場制からお無品 手度度算四千回を以て木油街海 常出版所では本府の命により上

恩後援の延母クラブ闘全仁川単【仁川】 睦斉賢主催、毎申仁川 對延專クラブ

御紀入御申込を乞ふ文献御希望の方は新聞名



清州醫縣岩長 七日永同課

七日本社就營支局

新たに到着した新式砲の貨幣財大印】八十帰隊では十日昌寧で

護を範囲し職式その標準が走づき。上その貯水波田と分水について第一で現在起ばも假習し終り居営僅か水利と登式水利の合同家は追脱米、開組合は導水路が同じである瞭解、希のに一面脳会は登録起古の認立、水利と登式水利の合同家は登録起古の認立 り遊舊局の立徳所を探診して正臓 五別除である営め既益の地主中にに開着担勢改し延いては分水に當 に一回の水源である官勢に益決は 従来一回の合配器となったものである。 からいってい

[編集] 導水路を同じらする脳錠 がない見透しがついたのと、

が出来、先づ總對に水路域の吸り「殴つてをりこれな一勝するため今」向きあり取る至職と見られてるる六千町の南紫利原既に豊富な服骸。に最水するなど自富紫鏡で方法を「はこの合脈に種力皮益せんとする

學校で極道を樂除の演奏資開催【馬山】十一日午後三時からか

呈 **企連自動車株式會社**

大連自動

大連市山縣迎三二 電話二、八九三五番目動車技術員養成所

受けた人はよろこぶ。 大連商船出帆

(番外)

◆阪 輔 行(船客间额) 七月十四日 輔 安 丸 群山嵛郡 七月十五日 第二端井丸 群山嵛郡 七月十九日 第三大资丸 群山嵛郡

安東行政、京流行

中は有名石鹼。罐は きっと残しておく。 牛ダース罐入九十銭

◆國河湖、安東 ◆國河湖、安東 七月十二日 昭 天 東 國河湖 ◆海十二日 昭 天 東 國河湖 ◆海十二日 昭 天 東 國河湖 ◆海十二日 昭 天 東 國河湖 七月十七日 大 昭 東 九月十七日 大 昭 東 九月十七日 大 昭 東 九月十七日 大 昭 東 七月十七日 大 昭 東

治療上の 新結光

汉 5

マット

世界的獨創。活性酵素注射劑

家の驚賛せらる、所、未試各位の御實用なく奇蹟的に奏効する事は實驗諸大明結核、肋腹膜炎治療及豫防等に害作期結核、肋腹膜炎治療及豫防等に害作

駆を
懇
嘱
す を登及金統の増進等に関し卓越せる効果あり。 を登及金統の増進等に関し卓越せる効果あり。 各一○替入 三○指人アリ

大阪市今個二丁目 田藥品 東京市本町三丁目



生 よ見を結ずの校本の古最洲陸



_10一京报·洞颤宽城京

家に良妻風呂場にミッワ

THE PERSON NAMED IN THE PARTY OF THE PARTY O

G. 15

河津出机 代理店 网络亚维文店 七月十五日 七月十五日 七月十五日 第出列 代理店 富田 商會 2年間 代理店 図覧理論文店 ・北海道行 ・北海道行 ・北海道行 ・北海道行 ・北海道行 ・北海道行

素の氣元 杯一の前食 糧の康健

(お好みの一品)

養滋味

二色シャー

電氣 柱 掛 時 計 線 線 線 線 線 線 線 羽 羽 地 地 使具 布團地 (お好みの一品)

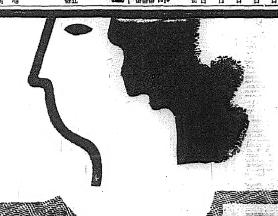
所氏名及びこの新聞名を

以て一口とし各裏面に住の部分を切抜き、二枚をの黄色い包紙のレッテルの黄色い包紙のレッテル

蜂ブドー酒の包紙のレッ

て左配へお送り下さい。 書(四名毎に三韓別手貼付) k

天景品・彩音り K





金四十國常马勸業責券 (お好みの「品)



溶工合も泡沫立も他と比較にならぬ

柔軟な御婦人。赤兒の肌をも荒さぬ無 比の品質

愛見の保健と整肌の為に 0000

緩和な獨得の作用 用はれますことは、現代御家庭の常識 高級植物性油を原料に配合

苍

毫も刺戟が無く

用つた後の爽さは全く無類 東海 (一) 計造

御贈答には 〇ミツワん絵

東京。瞬國 0 Ä 見 屋

赴戦高原の東端から下界の新興方面の雲海

くるめて一週別祭しい生命の出

置として三国足らず

型として「と対比して」、 其中でも特に動戦高版で産する高 キ蝶、アスターコムラサキ蝶、五十銭、それに食事 みない鍼は絨質用土穴臓あるが、 人タテハ素材 ――ガヒマコムラサ鉄斑(たつた十四國) 広々氏のお話…… 朝鮮には内地に | 「日本アルプスにも産す)アム鉄斑(たつた十四國) 広々氏のお話…… 朝鮮には内地に | 日本アルプスにも産す)アム

赴戦局既に切かれるキャンプ

▲アゲハ解科──オホアカロ筋なものは次の通りである

温度の關係が壁の生態に到してる

るので、要素でも貴重な強として一川美三の腕作になり、定許のある

る。 学んべいさんはお人好しには炉

時四十分能ガソリン機関叫と木林

森林作業型に於てきる五日午後上

いらめまはしてるた

平北東與器用此駐在所管內大區

突三名死傷森林鐵道で衝

は高山槌螂の間言な監と、宗道、 6の京城弥樂館は好許を擦して るの含葉である、壁するに赴服高艇 同きの家態懇間襲職として八日か

ルデインゲル研究所でも所致して

タフェーラー研究所、愛乙のヌタ 思られたもので、アメリカのコッカゲ轢は世界でも赴戦古間のみに

ものである、特にシャジウベニヒに見られぬ配等特職の蝶を至する シベリア系統に関してあるので触り本では楚朝命脈のみがアムール でであるがこれら蝶の生態分布は

アムプル主演 んはお人好 「半んべいさ

を無託されてゐる

山森は約五十極ありその中で代表

関射線語に駆倒は來る八月十六日

(月) 午後一時から京城巡戦場に

会明新班上版·2階四上版解析形式

八月十六日

満鮮對抗の

朝鮮豫選會

百米、八百米、干五百米、五干米」於て機行、和丁七百米、四

遺骨を抱いて歸る相澤元中佐夫人

とり出々の人 こみで 丸一糖製には数十名の不良が互ひ に轍絡を みせかけお客が、五風、十回の中

一階間とみせお客が、田し一郎へて調べると、京城堅志町八〇

九日夜九三頃田路二丁日人至みの一る少年を創路者宮崎部長が出郷、

インチャばくちで

敷十名の不良

強奪しまはる

世界中で珍しい蝶

戰

原

0

魅

力

抱かれよる。

外には居ぬ蝶

▲セセリ線料ミヤマユキマダラセ

御質のコンピ

類、コンジミ類、ホーザンゴマンジ 類、コンジミ類、ガヒマナスア

脚これら不良の取締りを一層最重 国際して送走してゐるとの供述を したので、同器では外勤製品を費 うな札をださらものならそのまし

中であつたが邱敦忠・通過し八十年を中間のであったが「明忠の」と、「生産内に於ける膠用泉の遊

文部省より欧県原士の砂位を授

て眺め寄れば

町四大李甲秀氏(か)は登て坂大に

京城府縣松

赴戦高原ばかりで舞ふ美しさ

珍奇のもの約五十種

城大醫院の新築!

取新の設備

は半島山質事業施設及び御生施

私立病院にも補助を與へる方針!

本府の新事業に内定す は要用の裕鉛値所まで附いてるる

城大粮神科五十名、清碗里病院三年これ質素の様な人々の中値かに

性病患者は男子二千三百七十一名

昨年より六十四名の

丁名、應原原於十三名記九十三名!

説の徹底を関するため建築野二十一萬金の滑船を開してゐるが朝鮮に

だけが治療を受けてある、總質府」け私主権院には各府縣から忠秀一一大阪中宮族院、京部川越境院等の 女子大百四十二名前三千十三名で「た、新鉄の曜は全語の見込みある」例成も代用機能として細助を興へ これ質素の徹女人々の中僅かに「ある、なほ内地では積塵病薬の取」「病院設立」に「先き立つ下増加を「不し」である、職「切をモフトーに部線に當る方數で「方戦である」 総長び保護治認の目的から精神病。本版衛生説の細川駅は去る大月廿ある、なほ内地では樹神病翁の取「病院設立に」、先き立つて 在記法及び精神病院法を法律を設一日から七月八日まで東京松神病院 人に到し一日一回の補助を與へて一代表的指揮摘除を融級した 明年度漢字に記上することになっ 思者約白名 を取得し継 積極的に知の形な人々を数限する に問研院院法を新に設け、各仏立

氣の毒な内地人老女につかふ 芝海を渡る咸激質話 人情の花

はからずも、内鮮実験の明朗讃が |・ 電照転送部からの母元間博から||をかけて研まないからとて繋を聴|| 権投、数値投、走市路、三段跳び 南町生れ間は行成つ。「任大正」さんを探し出すや ました、敵者はこれは大事だと直

(取料を支援のてやつたが、トクさ | 東中である 取料を支援のてやつたが、トクさ | 東井ので東大門響で主要 整の木作僧に得心中、間覆して 第四思川新衛、佐々木仙次郎氏 類印で古物語を替んであたが九 理想を抱いて内間へ渡り 日の大震災に継で投げ出され

事から消出されんとしてあるのを | 野級部を通じて締むの母 形情が のる版川トクさん。

とが宿街神の

でもその美蔵に懸動この程京流山 るなどしてあるので干脆に野島部 と百四十国の配が生命保険をかけ に不幸があった時には其役用にも 一中共養したいと申出でトクさん 最近では自分の世界の如くつかへ 肉親も及ば 母語を

一人三個月以内、八月十月までに の取扱ひを別型工事中であったが 無線有線巡路上近0位時通過都路 無能度置をなしこれで位信単語及 市品配理所と野山戦場局に小規模

不便を懸じてゐたが態信局では於

設備がなく 漁業情及住民は非常に 便錠を期待される

あるが問島にはまだ通信記話の は近初の就みで産業的破上多大の

遞信局がはじめての試み

両者へらは終花町 (統原理送話ト ランス房院に増き込んだが重印 ラックにはね飛ばされ最もにセグ 九日午前十時中京城西界町裏通 で南張町三丁目少年前馬川根李思 はね飛ばす

ラック巡院手)仁温度者でものト 謎のをしてゐて驀進して来た京出述りで同町の字書換書(7とがまり にはわとばされた、左足術折、

道で球遊び

最語信局

山道内科

電本二三二三 前

お茶は本町五清元園

漁場の於青島から 無線電話を通す

の他に金砂板一ヶ月の重路

老婆飛込む

を食譲ばあざらん 存食譲ばあざらん

水ギレザ経動語な細卸電が開発をはいる。日本の一般では、日本の一般には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一の一の一の一の一般には、日本の一般には、日本の一般には、日本の一般には、日本の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の

科教育新海醫院

日午後七時廿分頭京麥元町四回

それつど牧はる

政化所下流で住所姓名不能

ハラゲオモ

本豐富是資和日野院花柳病專門

外務社員 岩崎縣縣

香川工業所 新 類 質 10 人

|監は金野川指の漁場として有名||の公衆連點を取扱ふことは朝鮮で||同町以氏の何犬に咬まれ資格した が記入かどうか晩年 通り合はせた京城山手町庭佐所職 企てたがモーターボートに乗つて 設助されたが生命に別様なく他山 市は版、元町四部都音の附近に 十二歳の朝鮮人女が投身自殺を

少かる 九日午後一時二分部山麓極深行の 中が旭山塘塩裏に差しかいつた時 で青年自殺

来る十五日から取扱びを明始する「京城が町三大開送監太郎氏三男勉」に述び手部を加へたが生命危服をよった。 な迂間思との電影料金は一世と同じで通路料金は▲帯山四五岐一章で振六四銭▲金州六〇銭▲西山南市七〇銭等である

び込み自役を送けた。龍山野や 五、六版の無洋服を省た南年が

特にい放送時間を長なくれるとに傾向なっチオで

五頭語字十五字語一回五行一面五十段間名は一回毎に五十段間名は一回毎に五十段間名は一回毎に五十

淡 京日案內

持つてゐるのみで母近不明

問題の批判的語と書いた手間

犬に用心の事

至中

写真は

許 けふ本府から發表され

単生れ辛好嗣(元)で生活郷のため

電気時計 # ラデオ テレビアン

マツタ 独位 * 32.00 東京 * 4 = 7 目 山中電機株式會社

工場物 監督しる人用的制に に大学会 で政府大平連二丁目 たし大学会 で政府大平連二丁目 大塚館會印刷配 大塚館會印刷配 大塚館會印刷配

校 大川草一氏百名十五日午4

七時廿五分入城大軍底衛十六



下さいと泣きついた、大監機 耳を思つて今は食ふに食べた 行町城音吉さん。(*)で基を上

なつて背頭へ行く駐倒にさらだ 城へたどりつき仁川から船入夫に で統定れてからまる郷、やつとは 八回也をもつて貨物船で発出へ上 た、それかりは徒歩旅行、問題 人足をしながら下腺へ渡りつ

名物中田室大田カステラ 音い認言型が取る日 本府人部談の

家元?師部是事帜に早盛りしたたか話題が例の『定イツュ』の あるか、神聖なる司法艦がそん 受けたよ」と記表した、前日る 思帆重響頭の結果無罪の物決を 挽、その果がどこをどら間逃つ な原を許するんか」と色をなし 連中最いて「そんな馬鹿な事が 大事性を議断に貼んに無見を交 撃当く『諸者!剛部定はこの な氏が尤もらしい頭付きで 正午の休み時間にど ぐろを借いて二・二

よいか、鍵物所の方ではくだけ だから諸君等は若いと云ふんだ さらに落ついて『そんな考へ方 たもんだよ、何形定を呼び出し はしたので約廿分間息も出来す に怒めしさらな節付で洒落男を これでも云ひはるか」と鯉く飛 し渡す)の物決があつたのだよ (事質無機……につき無罪を申

けるの天氣

みでおりまった シースまりまべ 人付ければ 内内型及輸出地の総位立額皆は本館設 中の地及輸出地の総位立額皆は本館設 東京内と各間域の開発工作選手で 東京内と各間域の開発工作選手で 東京内と各間域の開発工作選手で 東京内との開発工作選手で 東京の日本教育が国手合目 変が単点の記録は、2000年代 を関する。日本教育が のでは、1000年代 を関する。日本教育が のでは、1000年代 では、1000年代 では、 年金 特別立替

源。 京城市、 海北古山縣 所 京城市、 海北古山縣東江 京城市、 海北古山縣東江 京城市、 海北古山縣東江 京城市、 海北古山縣東江 東京城市、 海北古山縣東江 東京城市、 海北古山縣東江 東京城市、 海北古山縣東江 東京城市、 海北古山縣東江 東京城市、 海北古山縣東江 東京城市、 海北古山縣

東京城市

東京城市

東京城田

東

○ へ出しても恥しくないセダン病 | 外科になつてゐるが、部間は既に | 同語財の新散・軟式貯締塩の新設 をすつかり取り燃し、その謎に何一トの二就建で二部が小兒科、下が一 か昨つて、四ヶ年記載で今までの一りなもので、飼つ白いコンクリー の一様は今一現代料像の力を悉く勝用してをり一めるが野球場の配度は目下使用期

い』と由田副副長時代からの念願

ても建築及は備邦に忠代味たつぶ

京城巡討は十一年世改修四章章は

一萬八千回で野塚出の錦裳取替へ 愈よ軟 である

香で他はなく上事人札に附する語。 「にあるので今秋十月町から置工の」高標準、中継時、回館で、耐丸技「殿重慶分することになり、「 **飞到**球場 京城府で近く工事入札決る

この腎臓の明日大願風無時代のも「無張が現鉱での験」を急いである「栄、ベルコニー等一つとして喧嘩財伍の見場も大財政が減の風化け」年上一起に深越し、第二天龍神の「津続や冷能蔵理能・概節犯・凝鉛

半島文化施設の誇り

第二期工事着手

収容及指数

計画されたもので

にも影響するとて「なんとかした

第としての面目にもかくることで | 全部、内地各大原及び世界各國の 大同院に範を取りその枠を扱いて

のそのま、で、貨糧大規範として「かくして種が来年までには金額の」せざるになく、鉄に鞍脚池の狙き「んは関トなく人端にあまりお世話は不十分であるこれでは大規範として「かくして種が来年までには金額の」せざるになく 現在完成し

ね、國際の充質、賽館の觀感を指では豫ねてから軍管局と國际を重 バイによつて國外に通報され

一般更にすることに決定近く空中で求めてゐる半島島脈間の政績を

本 立骨は大地風最も間 有利・は相談扱きす 京城府古市関三五番地 三 澤 西 曾

出部所京城部與局。計画第三九號 長春用町。獨等跨工株式會建京城 長春用町。獨等跨工株式會建京城 東京市公司公司城里 東京市公司公司城里

为别争内

暑中御伺

甲上げます

紫無斯上演映圖

張り雁子の想像してゐる通り自殺 出たやらなものだつた。父は、矢」ない正體の知れないものが認んで てるた既情が、一時にどつと流れ 何か。目に見えないもので駆かれ | の中には既は、もつと | 一流い □ | 行つてみたのだつた。

だつたと推測するのが正しいかも「父の死んだ親国を見てから周一郎」

底は、距離の見名が附かない位置 此の吊橋は、坑夫達の往後に便利 かに、吸ひ込まれるやらな妖術に

ながら連盟く居協の掛かつてるる 彼つてゐた。その次に此の谷に って死んたのは東京の機械商の出

に膨めてゐた。 かも知れない、だが、文觀の歌様、一郎は、父の落ちたといる景景へ入上げて來るのを、懸外な癖、貼つたほであらうか?それもある。 つて行く事務所の人達と共に、関 |を分けた自分にだつて祭しのつか | 品橋は、太い野金のロープで出来 つとで、三尺足らずの時だつた。母形をしてゐる男だつた。相常職なたもので、人間一人が歩くのがやを蒙いて、一製粧光よりもひどい 今朝、俳拾ひをすませて鑑山へ融 歩るく度にブラーへ左右に揺れて に、そんな疑びが繋がつて行つた 馴れない話には、人が歩くのを見 始めて此の機から墜落したのは朝 関一郎は、此の概を渡るのは始め 即が洋行する前の年に架けられた なやらにと、父親の健策で、周一 共の上、目の下に描がつてゐる谷 ても、そつとするやらなものだっ の領接の中には、一つの壁のやう なつてゐるのだつた。 もはつきり感じられた。 の手に掘ってゐるローブの冷たさ もので、鑑山から街へ出る近直に い人の坑夫で顕著作がボラー てだつたが不思議と、何度も渡り けたやうな錯髪を起して、雨方 付は、その母、周一郎の胸にも思 一競って消で行った。一生問題の何 身形をしてゐる男だつた。相當觀 やうに張つてゐた悲しみの歐領に「が影朝同時につくか顕べて、大峰だが、その演得はたつた今の蔼の「旅行暴內を出して、関一郎は汽車 殺しと人も我も決めてゐた老人だ れた服に、ミシンの壁びた破れ靴 ひどいアル中で字を書く時も手許 き際に上る男で、競り街だつた。 路の面成に違ひないと目引き触引 度胸の中で思ひ出してみた。 つてゐる給料は、そつくり消代に が、ブルー(小別なに農へ、砂汚 から一度も悪帯をしたことがなく その老人は中田と云つて、若い間 つたので、支柱を失つた中田の国 で盛くやうに低い野で云つた。 で、ロープにつかまつて、じつと つて缺けた場もなし、何處か失戦 仏底を見詰めてゐる間一郎の耳許 をやつてゐた老人が、吊路の鼠中 り違ふんですね――二十何年父親 使はれて坑夫の出面解験の配入 郎は、その時の領標をもう一 知つてるるんだな! | 健極者は年帯りの女後家で七千回 一
観業の出売所に相談をしてみる他 一手に渡つた現在ではどうする斯も 0 都合自分が融通した手形の五千回 の批利に五百回をつけて能り受け ことだつた。後者の方では、日本 手に入れた畿山を合理的に取りす 策を調すること、、高利貸岩谷が 行から融通を受けてゐる金の遊後 ない。発官つての急称は、大師銀

ち整理したものかと考へてるた。 った。貢促がどの程度に落付くよ のか見當はつかないが、顔山が人 から考へても、交金額の部外に影 いことも間一郎には重大なことだ 惑も舒もなく困り果てた続子

世一二二年の大学記述の同七時一分(東)週の修養 佐久の同七時一分(東)週の修養 佐久の同七時一分(東)週の修養 佐久のの同七時一分(東)週の修養 同六時三〇分(集)阿祖講照(十 (東)ラデオ機操 曜日

太田

十日の番組

| 同九時||五分||須象通記||同九時||(館)||寮庭メモ 福治 同人同二〇分 (大) 校家と衆歌と 東 加城 茂 郷谷 瀬

大阪ラヂオオーケ

語に依れば、指谷は、一番武器の

ある现在、三萬国は下らの部だ 午後繁時五分 琵琶 井伊大老 =

」ば、戯の市價は有望になりつゝ

か出て聚るかも知れぬが……。 五日) 頻用草船 阿部 下一さらすれば交何んとかいゝ方 同雲時三五分(大) 顕民歌谣 乓 陌 **校歌)** 都の西北早稲田の森に(早大 若き肌に燃ゆるもの(原大胆

同六時五五分(東)カレントトピ 観召 祭 (三十八) 鹽谷 榮 同六時二五分(第) 莊腹炎跳轟飛 村崎 花子 同六時 一〇分(東)コドモの新聞の子 後山コドモ陽倉重話劇部の子を山コドモ陽倉重話劇部

同人時二曲と三曲合奏・一、二同七時三〇分(小)総選を全な ニュース 天気見込 職 百百 選 周九時二〇分 名田俊賞(シュー) 同八時五〇分 低収 金 紅 桃 一同八時五〇分 (大) 獨唱 本 光 決 同八時 瓶味器演 二

久間京山先生の本領(六) 十一日き、物

谷前姿所より中縁 内田 栗一 都ぞ殖生の企業に(北海道帝 | 午後等時五分 (大) 質絃祭 登 大阪ラロト・ 同一〇時三〇分(大)

同六時二五分(宮) **西談宮** 立山 東京政这種高研究寶

のしかよってるる父親の資鑑をど た。 優行に較太を尋ねるのを先にしよ 句の味ひ方作り方(五)短廊でのしかよってるる父親の資鑑をど た。 のしかよってるる父親の資鑑をど た。 のしかよってるる父親の資鑑をど た。 優行に較太を尋ねるのを先にしよ 句の味ひ方作り方(五) 担顧 でしかよってるる父親の資鑑をど た。

助方へのニュース(朝鮮語)を 地方へのニュース(朝鮮語)を 助方へのニュース(朝鮮語)を

同三時一五分 第二放送 唱歌 加明豐校生 婦人の時間

超頻俊

になりました。父や母は後を誤解一を個く売上げればよいと思ひます一方をお話いたしまい

ざるますが御小さい方々にはその

家庭で手幅に出来るお菓子の作り

ス・シーザー (一) 同六時 (第) 俳人物語

配で彼は夕刊野になりました、肝 領なので 友人 一郎と相談の結果内 しそのために良吉は駆脱不足とな の金を父から出して概ふのは氣の 方へのニュース、レコード登業方へのニュース、気象通数、翌日の番組(地方へのニュース、レコード登業 (第一回) 春日李清朝 春日李清朝

同九時

チンドン屋の子 签山子供協會選話團部

都ぞ爾生の恋景に花の香瀬よ夏遊

に生活に苦しみました、併し一人からだで思ふやうに働けないため 足を買供して跛となり、不自由な

心不能に勉強に志しました。たま 越しチンドン量になりました、良 たいと思つて一切の刑も外間も超 吉は父の百労を日々隠跡しつと一 子の良吉だけは立版な人間に育て

〈水彩館具を買ふために五十銭

外務省東亞局 桑島 主計 とになりました

校歌と寮歌

午後八時半 内田 榮一

童話劇 午餐六時 北海道節國大學院献

(梗概) 良吉の父は日露戦事で片 7 寄き繁みに然えなん音崩退を観せの整置させれては終るふ色の数こそ一時の整置させれては終る。

おやつの話が日本の話 清潔な、新しい、安

のあるものを選びす

お菓子は元分社が

二、都の西北

て茅上げられくば何より結構でご 存じます、十時、三時に時を決め ると云ふだけでなくお母様とお話一供の喜びを想ひ、お子様方は交出 おやつは民歌に空腹をみたしてや一その上作ります間に する楽しい機能ともいたし既いと に勝らことの出来ない食いものが さつたほに感謝して 米上りますのを探しみ、造つて下 との節はなるべく なられたものが安心 頂く、その中

三、若き血に燃 ゆる者・慶川張路川援歌

の集ぶところ独目の遊気高らかに、変している。 等 希望の明星仰ぎて茲に、勝利君き血に燃ゆる者、光輝元てる我 に進む我が力常に新らし見よ情観

て窓び、それからといふもの父は の満き國ぞとあこがして叱責したが良言の告白を聞い て歴歌さやかに光れ 耐窓鎖を以て仕事に選進するこ に 1年間の 単変音 豊かに触れる石谷の

おこそかに北極星を

戻く肚脈の地をこゝに見よ だわせだわせだわせだ、わせだわ あまねく天下に邸き宿かん、わせ らず。やがても久遠の理想の既は ひて立てる、我等が行手は弱り知

沈野の暖罪へとして

期月題れる針菜園は

難風磁々として空る

の故郷我等が母校、あつまり故じ て人はかはれど、仰ぐは同じき埋 あれ見よかしこの常盤の森は、心

小稻山大學校歌

恋の光、いざ聲揃へて至もとどろ に、我等が母校の名をば言へん、 五、鳴呼玉杯に

第一商等學校聚數

わせだわせだわせだわせだ、わせ やどしく治安の際に貼りたる処理嗚呼玉桃に花らけて除酒に月の飲

筆をとり持ちて一たび起たば何事 華を稱ひ消ぎ心の益良雄が 剣と芙蓉の雪の精をとり 芳野の花の 五聚の健児歌謡高し

歴 船勇主しく 尚武の風を帆にはら 一 遊番く浪をかきわけて 自治の大

酔った! よわつた! 0 もう!!

ったところまで 局面はも5、先手方六八銀と上 晋の形ゆる帝別特記する壁化の筋にれまでのところでは、序盤帝

向飛卓か居飛しか

觀

消費品間

五六七八〇分末氏月 步 每步步步步 ▽七六歩
▽1.2四歩
▽1.2円歩
○1.2円歩
○1

闘は六八銀迄の局面

平于亚 四段 ▽ 中

(中村氏二回断 が、一つの誘導戦と見ていいだ交換して五三角打ちの作戦があ 敷が五四歩と受けたら、二二角 一つの誘導戦と見ていい

(11)

と、鈴木四段の五六歩は、ことの参考までに二三採り上げてみはない

をつけ古風な向飛車の

し始めて来たのも面白い現象語り戦も下火となり、五社の 『下火となり、現在のとはど一時供界を風隙した

考へて見ると勢力の前仲してたが至高であるが、一歩突き進行 穴歩と飛先きの歩を突き出する場が、 五六歩のところは直ちがれたとしては光の母を登却と 八世金 易二郎

でいる程なれば強も咎め立てすると云本常道がといる程なれば強も答め立てすると云本常道が

風に思ふ空の翼

風に思ふ空の鷲斑く自由マスタ

を更に倒らかよ我が自治。 脚西閣 西學院 間にかざす思き甲頭とたつ係。

餌は頭む武師の平野通けし理想に

+